

- ① 事前アンケートの結果について
- ② 参加者の問題意識共有
- ③ 最近のトピック（各省報道発表資料等）
- ④ 物流改正法ご質問への回答
- ⑤ **物流関係者からの情報提供**
「WEB-KITによる求貨求車の仕組みについて」
日本貨物運送協同組合連合会様
- ⑥ 参考資料

トラック物流問題解決に向けたオンライン説明会

WebKITによる求貨求車の仕組みについて

令和7年12月24日



日本貨物運送協同組合連合会

日本貨物運送協同組合連合会(日貨協連)の概要

相互扶助の精神に基づき、会員協同組合を通じた各種共同事業に取り組むことにより、中小トラック運送事業者の経営基盤強化と社会的・経済的地位を向上を図ることを事業目的とするトラック運送事業協同組合の中央団体

会 長:御手洗 安

所在地:東京都新宿区四谷三丁目2-5

設 立:昭和39年12月25日

会員数:100組合

(31連合会・69協同組合)

組合員事業者数
約13,000者
(31連合会、566協同組合)

情報化推進事業

WebKITの運営、自動点呼機器などの普及

各種保険事業

貨物補償制度、グループ保険、取引信用保険の取扱

燃料共同購入事業

各種販売事業

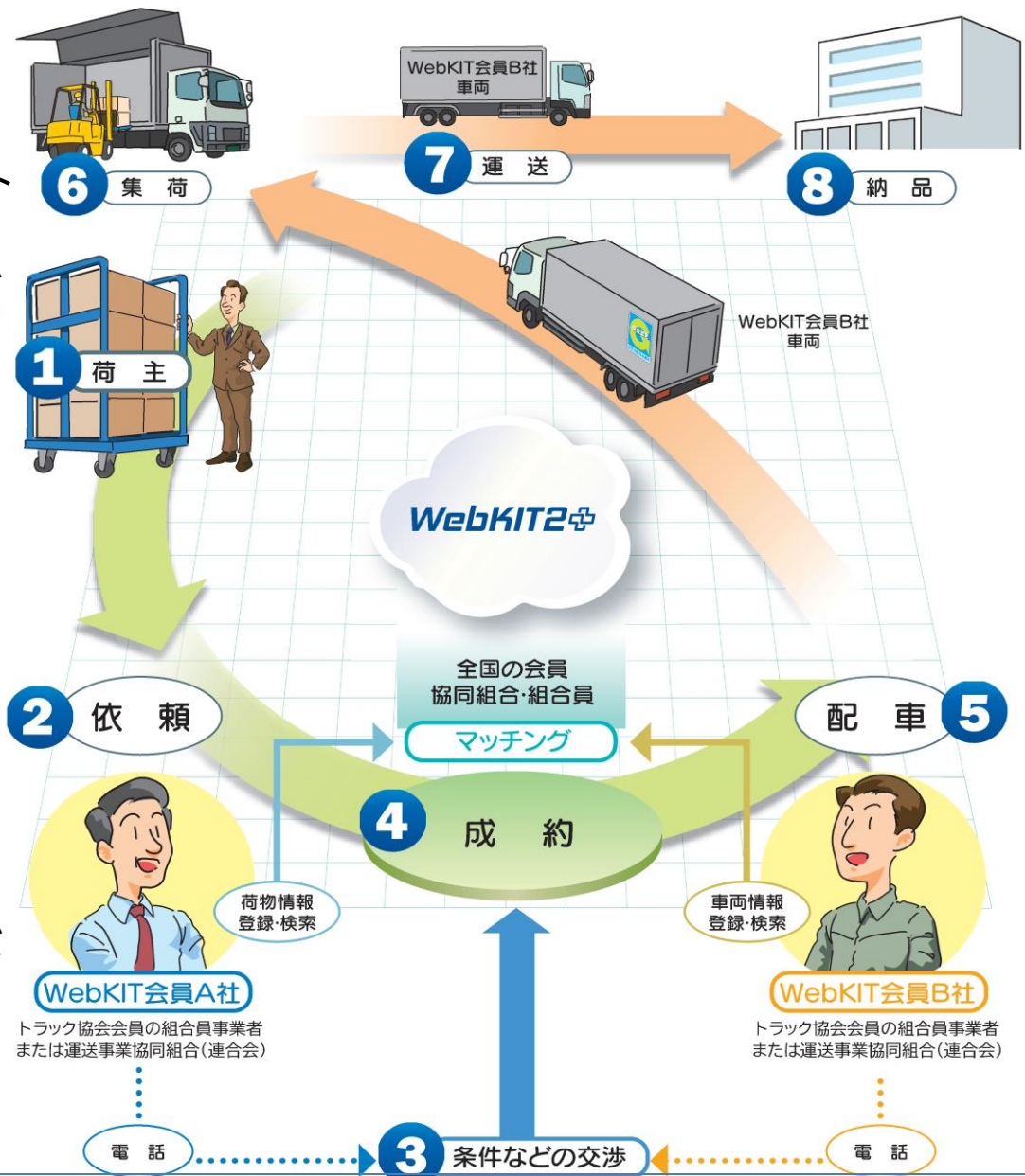
ドライバー研修テキスト、ドライバー学習支援サービス、業務用血圧計などの販売

「Web KIT2プラス」の概要

👉 WebKIT2プラスはインターネットを利用して、荷物を依頼する側と車両を活用したい運送側がそれぞれ情報登録や検索を行う。

👉 うまくマッチングしそうな情報を見つけたら、まず相手先に電話で連絡し、さらに詳細な条件を詰めた上で、成約に結びつける。

👉 WebKITでは協同組合を窓口として運送代金の精算・決済を行うため、都道府県トラック協会の会員であることに加え、KIT事業参加協同組合の組合員であることが要件となる。



共同輸送・ネットワークの歩み(概要)

昭和44年 輸送連絡センターを開設

帰りに幹旋による輸送効率化と遊休車両の活用幹旋を目指す。

昭和51年 「日貨協連システム輸送(NST)」の稼働

輸送センターに設置のテレックスを利用。

平成 3年 「ネットワークKIT事業」の開始

パソコン通信を情報手段の中心として運営

平成16年 「WebKIT」の開始

インターネット対応版のWebKITとしてシステムを刷新

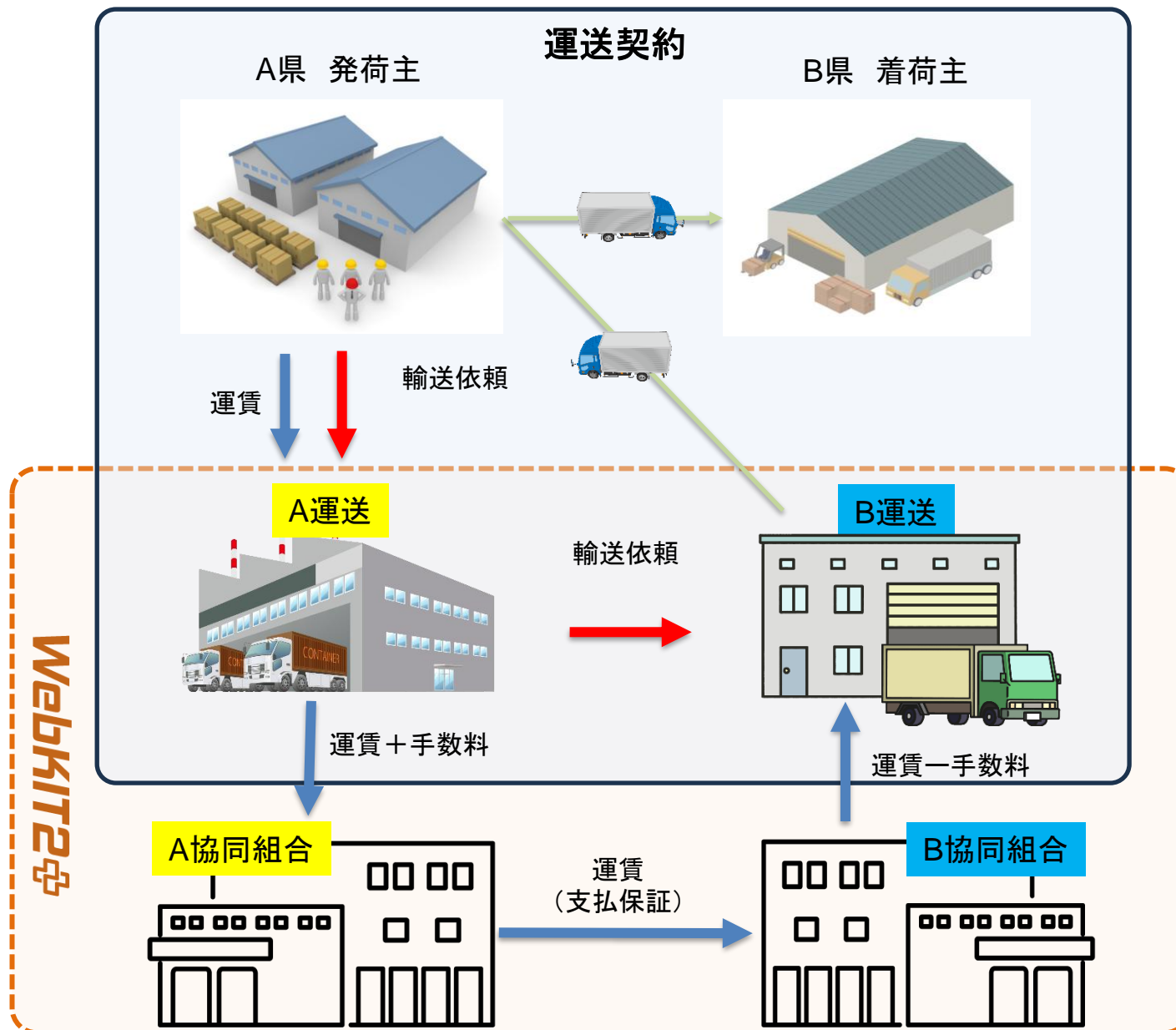
令和元年 「WebKIT2」の供用開始

スマホ専用アプリの提供やマッピング地図からの検索など大幅なバージョンアップ

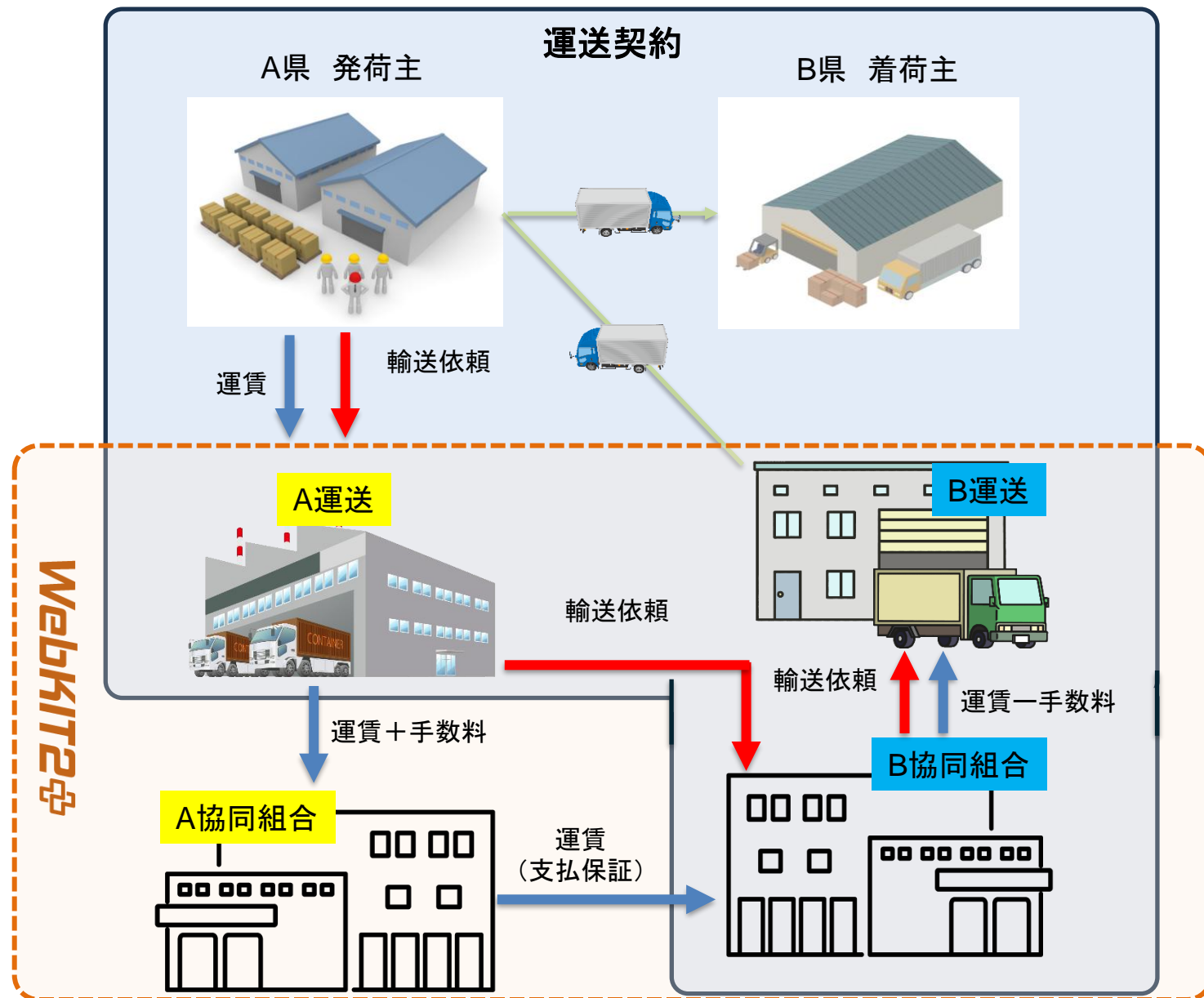
令和4年 「WebKIT2プラス」の供用開始

「標準的運賃の自動表示」「庸車追跡」「テレビ会議」の3機能の追加と、セキュリティ及び障害対策の強化等を図り、使いやすさと操作性の飛躍的な向上

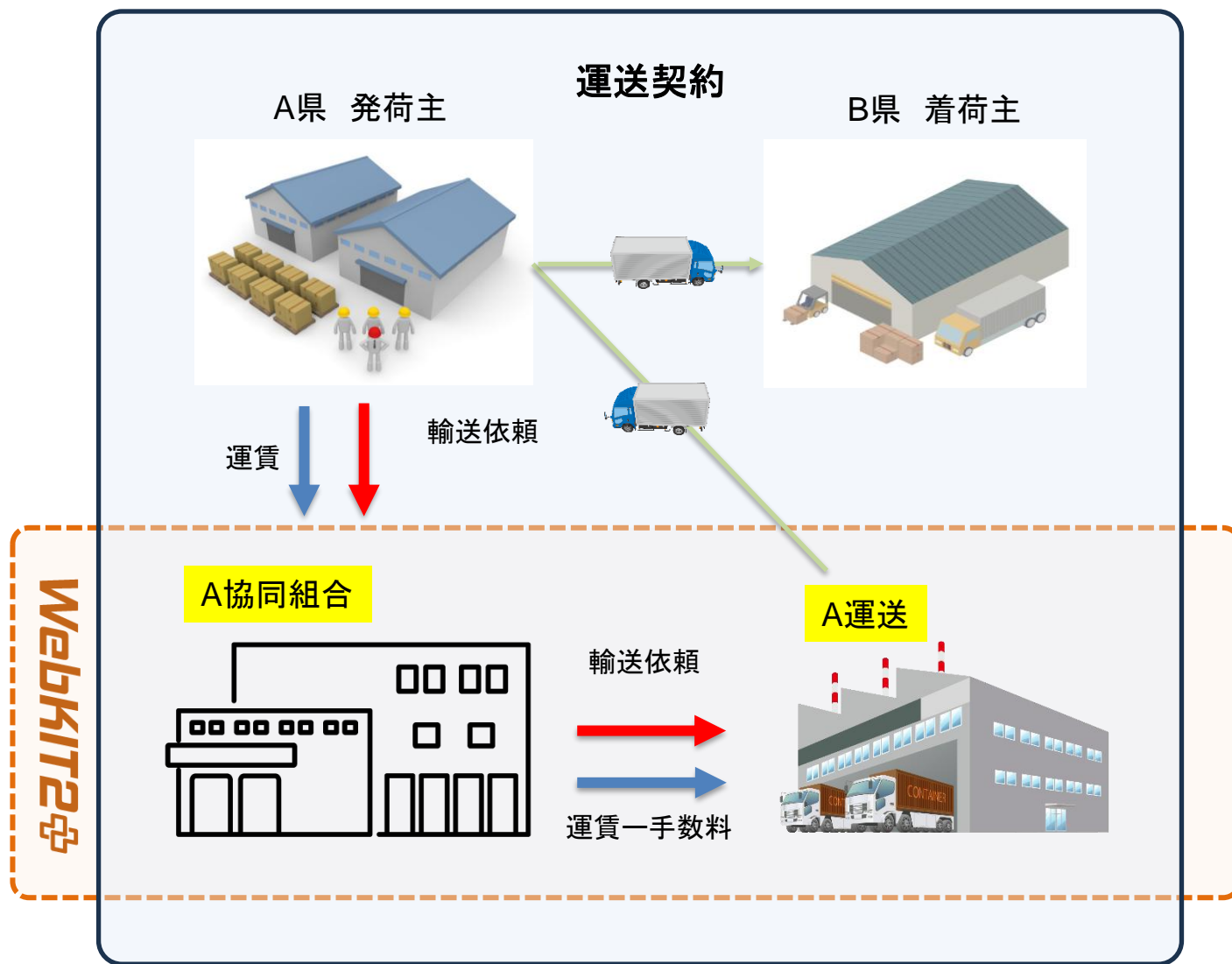
WebKIT活用例の概念図(基本パターン)



WebKIT活用例の概念図(組合請けパターン①)



WebKIT活用例の概念図(組合請けパターン②)



ネットワーク利用者の情報①

会員制

(1) 会員資格

- ① 各都道府県トラック協会の会員トラック運送事業者
- ② トラック運送事業者で構成する協同組合かつ、その組合員

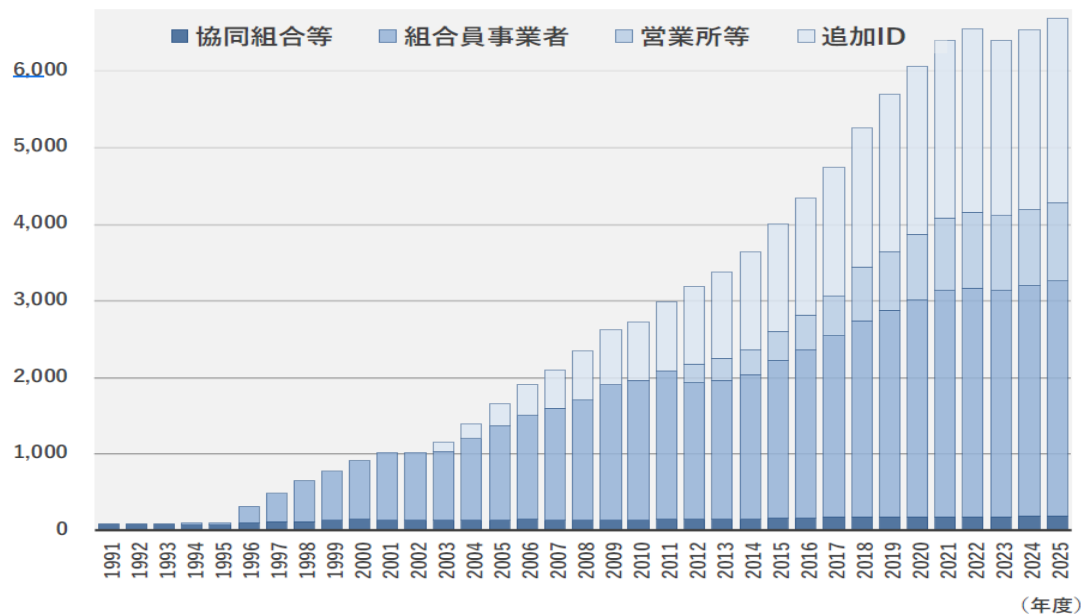
※荷主は対象外

(2) 取扱品目：一般貨物全般

(3) 会員(端末ID数)と内訳(令和7年11月末現在)

	ID数
協同組合等	190
トラック運送事業者	3,064
営業所	1,022
追加ID	2,420
合計端末ID数	6,696

(ID数)



ネットワーク利用者の情報②

(4) 会員情報登録データから見る主な取扱輸送品目ならびに取扱車種

【主な取扱輸送品目】

輸送品目	登録数
機械・装置	951
鋼材	669
建材	658
食料品	568
金属製品	485
衣料・雑貨	457
飲料品	435
紙・パルプ製品	386
電気製品	323
化学製品	305
農産物	297
木材	274
引越貨物	178
セメント製品	166
石油製品	119
畜産物	37
セメント	37
その他危険物	32
砂利・砂等	29
水産物	26
その他	1,881
未登録（不明）	1,866

【主な取扱車種】

車種	事業者数
ウイング	2,350
平	1,835
ユニック	1,027
バン	953
冷凍	357
保冷	313
幌	238
海上コンテナ	237
ダンプ	202
重機運搬車	128
車載車	87
危険物運搬車	49
未登録（不明）	1,303

※会員各社がWebKIT上に属性として登録している車両
（基本データ）より算出

※会員各社がWebKIT上に属性として登録している輸送品目（基本データ）より算出

年間の取扱数量

年間情報件数(令和6年度)

	令和6年度
荷物登録件数	1, 916, 456件
荷物成約件数	286, 318件
荷物成約率	14. 9%
車両登録件数	138, 088件
車両成約件数	8, 526件
車両成約率	6. 2%
総成約件数	294, 844件

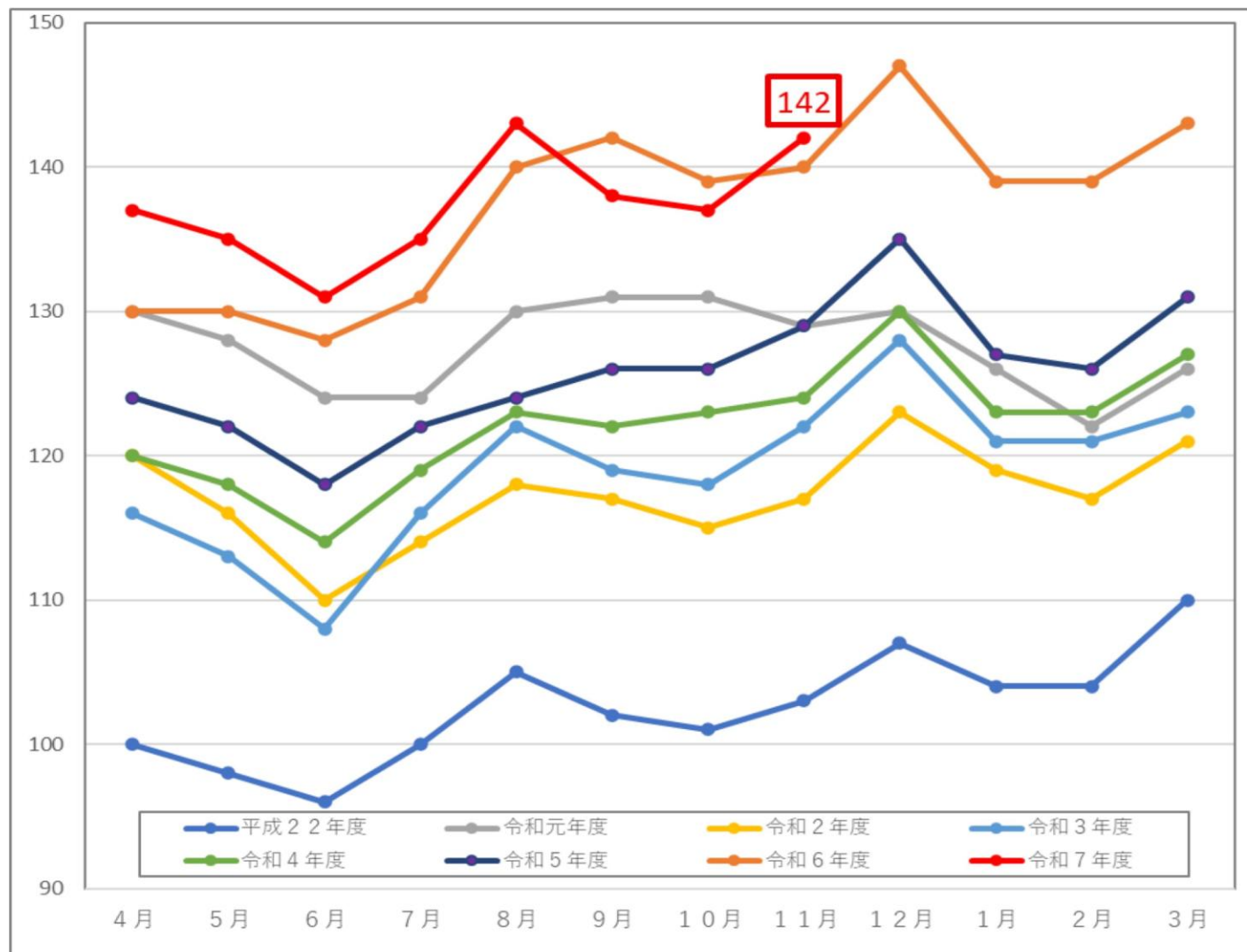
掲載情報の種類

長距離輸送の帰り荷をはじめ、近距離を含めた積み合わせ輸送品など、いわゆる「スポット輸送」とされる輸送、または、空きスペースのある車両。

なお、積合せ「可」を条件としている荷物情報の割合は10%弱。

成約運賃指数

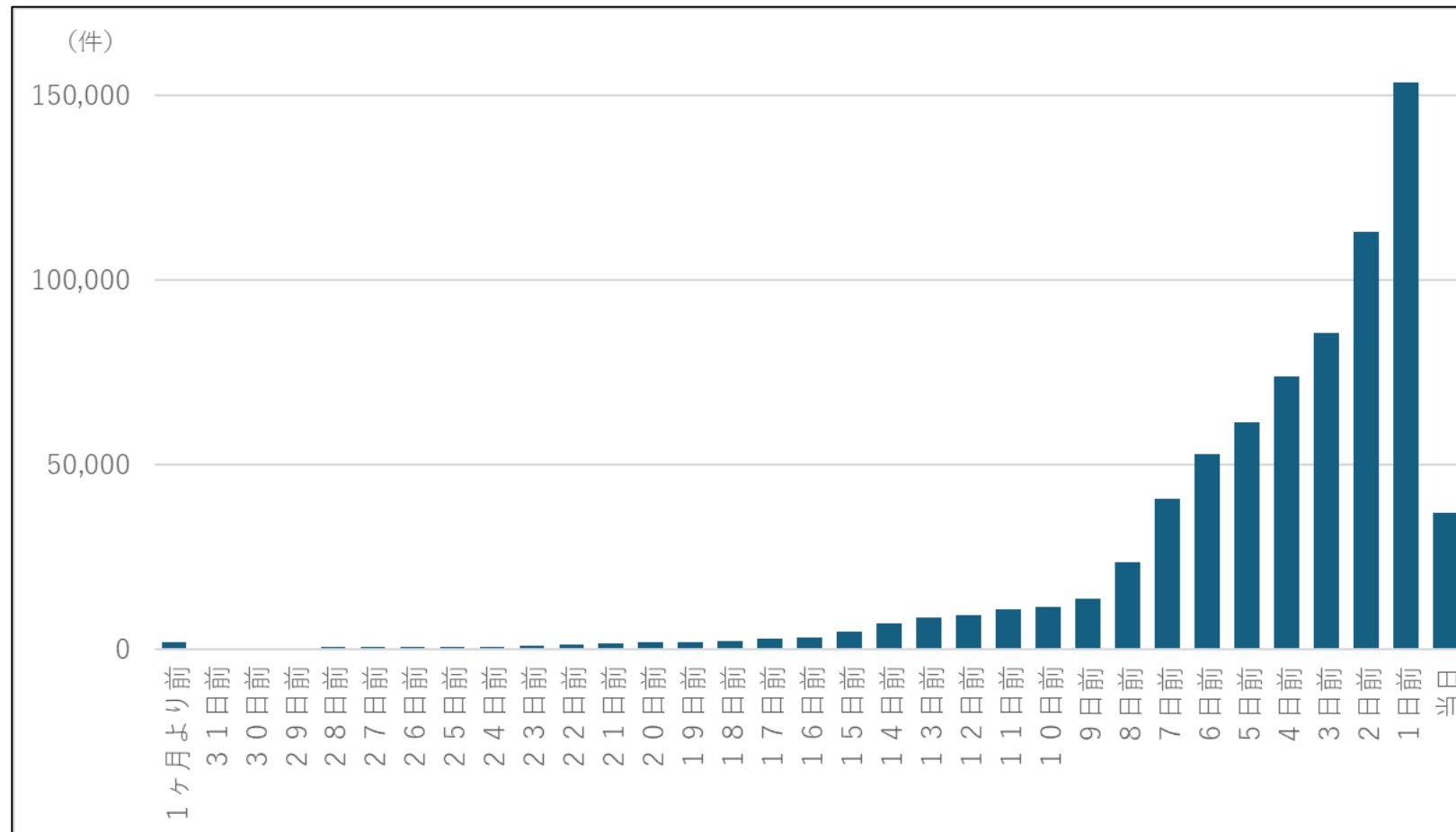
平成22年4月を100とした運賃指数を毎月全日本トラック協会と共同で公表。運賃指数は上昇傾向にあり、令和7年11月は、11月としては過去最高の水準。



運送のどれくらい前の登録が多いか

令和7年4月～9月のデータを見ると、繁忙期や連休前後によって変動はあるが、輸送の前日に登録される情報が全体の21%と最も多く占めている。

【輸送の積日と登録日との日数差】



法令改正への対応(最近の主なもの)

・書面化対応

成約メール

成約と同時に
確認メールが
自動配信され、
メール内容は
書面化に対応。

■発信元 【所属組合】 <input type="checkbox"/> 【事業者名】(000000000000)・日本貨物運送協同組合連合会 【成約更新者】岡崎絵美 【電話番号】03-3357-6068【FAX番号】03-3355-2032 【携帯番号】 <input type="checkbox"/> 【メール】okazaki@nikka-net.or.jp	■荷物情報 【輸送品区分】農産物 【輸送品形状区分】ケース <input type="checkbox"/> 【荷物重量】10.0t 【荷扱い】指定なし <input type="checkbox"/> 【積合】不可 <input type="checkbox"/> 【希望車種】平型 <input type="checkbox"/> 【装備品等】 【荷物登録時装備品等】 【自社便指定】指定あり・(**) 【実運送体制管理簿の作成対象】対象・(**) 【元請事業者の名称+連絡先(TEL又はメールアドレス)】 【真荷主の名称】 【委託先運送事業者の請負階層】・・0・次・(**) 【希望運賃】155,430・円 <input type="checkbox"/> 【課税区分】・課税 【高速代の別途支払】なし <input type="checkbox"/> 【道路使用料】0・円 <input type="checkbox"/> 【附帯業務料】0・円 <input type="checkbox"/> 【待機時間料】0・円 【積込料】0・円 <input type="checkbox"/> 【取卸料】0・円 <input type="checkbox"/> 【諸費用】0・円 <input type="checkbox"/>
■成約情報 【荷物伝票 No】00000000000022030003【担当者】キット事業部 【荷物組合名】 <input type="checkbox"/> 【荷物会員名】(000000000000)・日本貨物運送協同組合連合会 【荷物会員電話番号】03-3357-6068【荷物会員 FAX 番号】03-3353-7619 【車両伝票 No】99999990000022030001【担当者】全日本トラック協会 【車両組合名】 <input type="checkbox"/> 【車両会員名】(999999900000)・全日本トラック協会 【車両会員電話番号】03-3354-1009【車両会員 FAX 番号】03-3354-1019 【積地日時】2022 年 03 月 18 日・00 時・00 分 【積地場所】青森県 <input type="checkbox"/> 十和田市 <input type="checkbox"/> 【卸地日時】2022 年 03 月 18 日・00 時・00 分 【卸地場所】群馬県 <input type="checkbox"/> 沼田市 <input type="checkbox"/>	

・実運送体制(請負階層)記載欄の追加

実運送体制(請負階層)記載欄

成約情報画面に
「実運送体制管理簿」対
象チェック、
元請事業者ならびに
真荷主の名称、
委託先事業者の請負
階層の記載欄を設置。

実運送体制管理簿の作成対象

☒ 対象

元請事業者の名称
+連絡先(TEL又はメー
アドレ
ス)

XXX運送株式会社
00-0000-0000
xxxxxxx@nekka-net.or.jp

真荷主の名称

△△商事株式会社

委託先運送事業者の請負階層

1 次

再委託の禁止

実運送事業者が自ら輸送するために契約することを規定している。

さらに、WebKITで成約した輸送契約を同じWebKITやネットサービスへ再委託する行為や他のネットサービスで成約した輸送契約のWebKITへ再委託する行為を禁止している。

KIT事業運営規程(抜粋)

(禁止行為)

第27条 利用者は、本システムを利用するにあたり、次の各号を行ってはならない。

- (9)相手に無断で成約情報を変更する行為
- (10)WebKITで知り得た情報を委託する目的で他のシステムへ掲載する行為
- (11)他のシステムで知り得た情報を委託する目的でWebKITに掲載する行為
- (12)WebKITで知り得た情報を委託する目的でWebKITへ掲載する行為

WebKIT適正利用ガイドライン(抜粋)

A. WebKITの利用のあり方

A-1. 利用の目的

会員は、経営資源の相互補完・相互扶助の理念に基づいて、原則として、自らが当事者となって、輸送取引を成立させる目的のためにWebKITを利用することができます。

○荷物情報および車両情報を登録する時や取引が成立した輸送は、自らが当事者となって輸送取引を履行する前提で利用することができます。WebKITの掲載情報を受託後に、当該荷物をWebKITに再委託することはできません。

○ただし、受託者は、車両故障時などにおいて、契約を履行するために協力会社など自社が管理可能な範囲に限り、一次下請事業者による輸送を例外として認められます。なお、他ネットを利用して成立した一次下請事業者はこの限りではありません。

標準的運賃との乖離状況

荷物情報の登録時に標準的運賃を参考として表示する。

積地情報

積日時 必須 2024 年 09 月 18 日 水 09 時 00 分 迄

住所1 必須 ① 都道府県 東京都 市・区・郡 新宿区

住所2

卸地情報

卸日時 必須 2024 年 09 月 18 日 水 20 時 00 分 以降

住所1 必須 ② 都道府県 大阪府 市・区・郡 大阪市中央区

住所2

希望運賃 必須 (ご注意) ③

円

☒ 応相談 ☒ 非課税

標準的な運賃: 119,330円 (距離: 501km、重量: 2トンクラス、地域: 関東)
標準的な運賃: 137,010円 (距離: 501km、重量: 4トンクラス、地域: 関東)
標準的な運賃: 182,480円 (距離: 501km、重量: 10トンクラス、地域: 関東)
標準的な運賃: 241,860円 (距離: 501km、重量: 20トンクラス、地域: 関東)

実費料金の設定

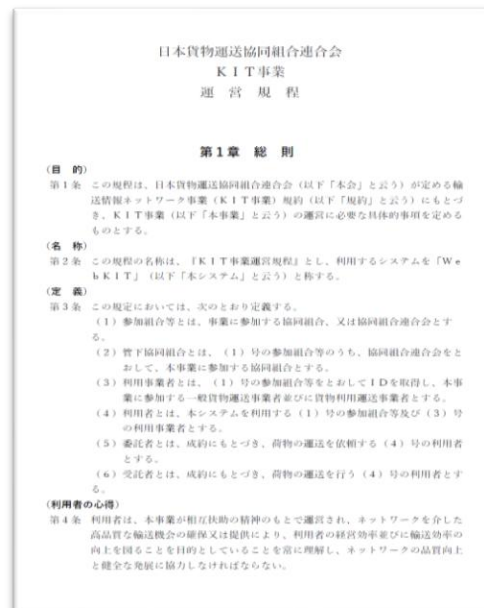
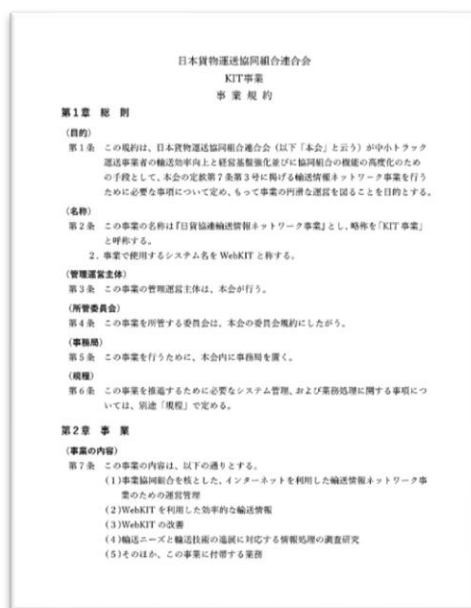
適正な運賃・料金を収受できるよう運賃とは別建てを前提とする各種料金の入力項目を設置している。

【実費料金の入力欄（高速道路料金別途負担の有無は必須項目）】

希望運賃 必須 (ご注意)	<input type="text" value="80000"/> 円	<input type="checkbox"/> 応相談	<input type="checkbox"/> 非課税		
上乗せ保険料 必須	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> なし			
高速代の別途支払 必須	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし	高速代の別途支払に条件（区間の制限や橋代は除くなど）がある場合は、ありの指定だけでなく特記事項に該当条件を入力してください。		
その他費用	⊕ 入力する				
高速代(税込)	<input type="text"/>	円	待機時間料	<input type="text"/>	円
積込料	<input type="text"/>	円	取卸料	<input type="text"/>	円
附帯業務料	<input type="text"/>	円	諸経費	<input type="text"/>	円
消費税対象 外費用 (非/不課税)	<input type="text"/>	円			

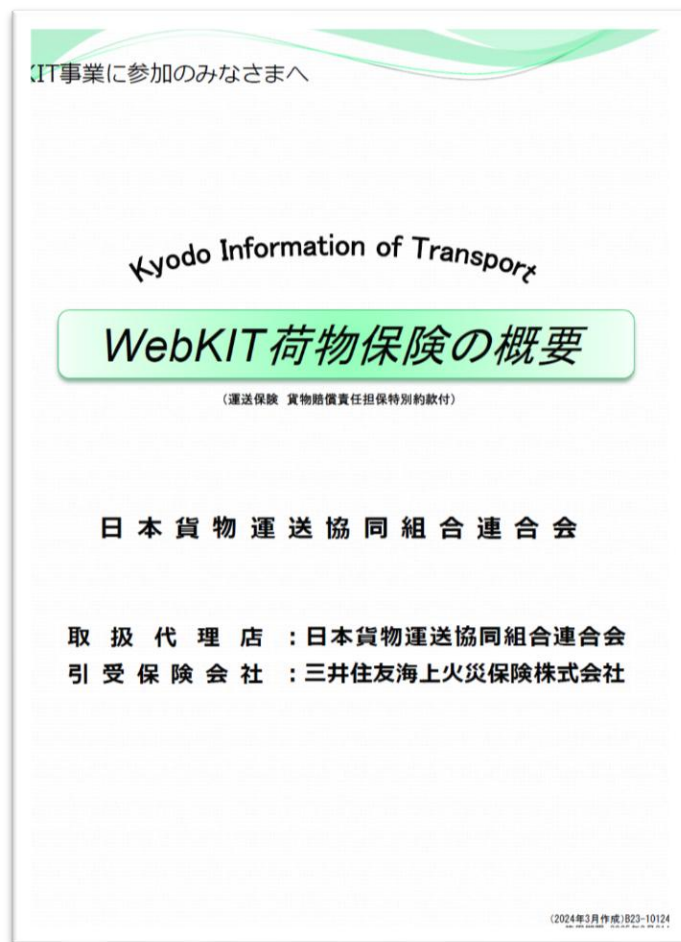
規約等に反する取引が発生した場合について

- ・KIT事業運営規程において遵守事項ならびに禁止事項を定め、規定の具体的な内容についてはWebKIT適正利用ガイドラインを策定し周知を図っている。
- ・罰則規定では、違反事項に対する是正勧告・対面指導、勧告に従わない場合に行う改善命令、正当な理由なく命令に従わない場合に行う一定期間の利用停止及び参加の取消しを規定している。

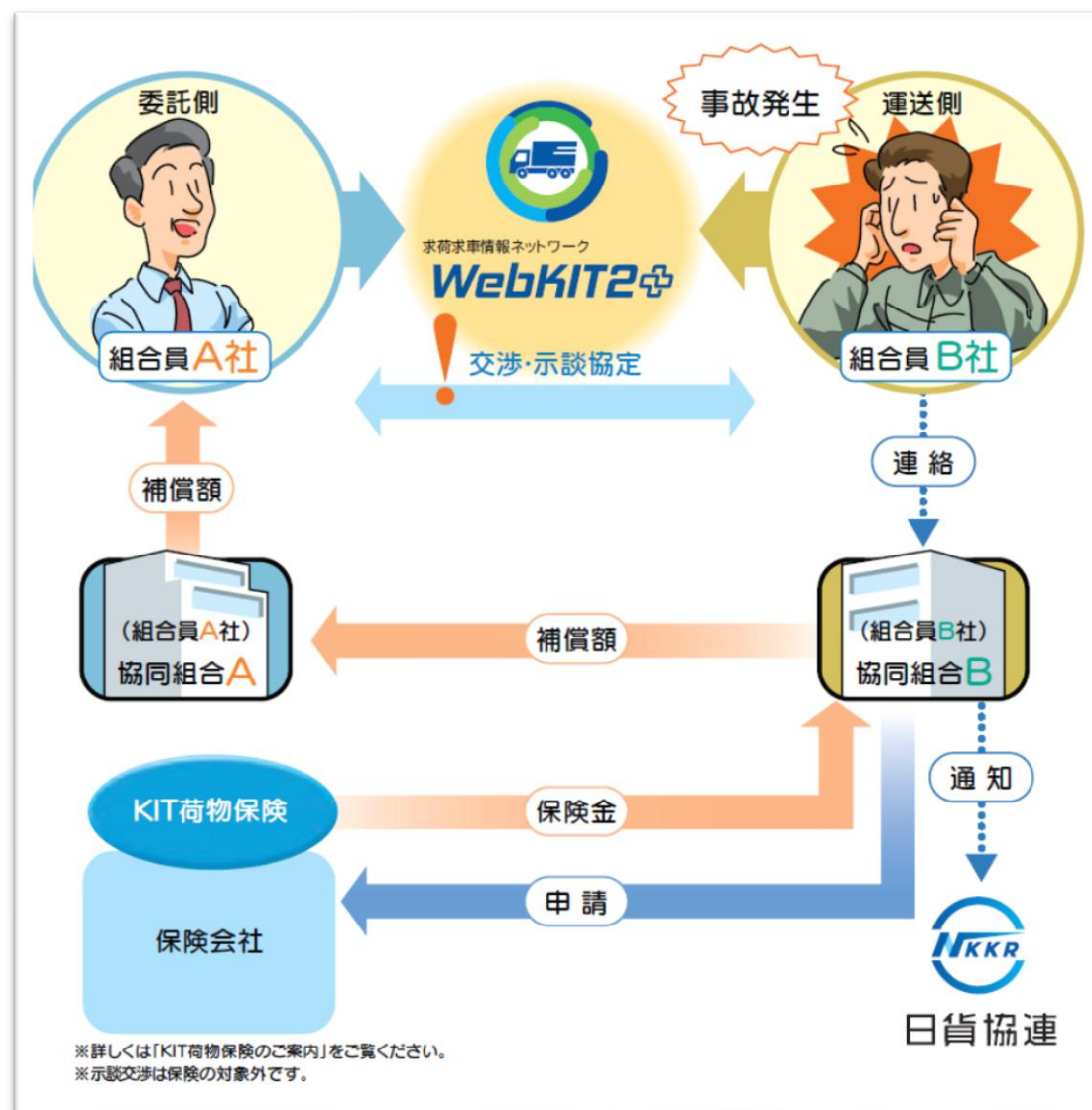


事故時の対応

貨物事故が発生した場合には、
事故原因者が保険会社へ連絡する。

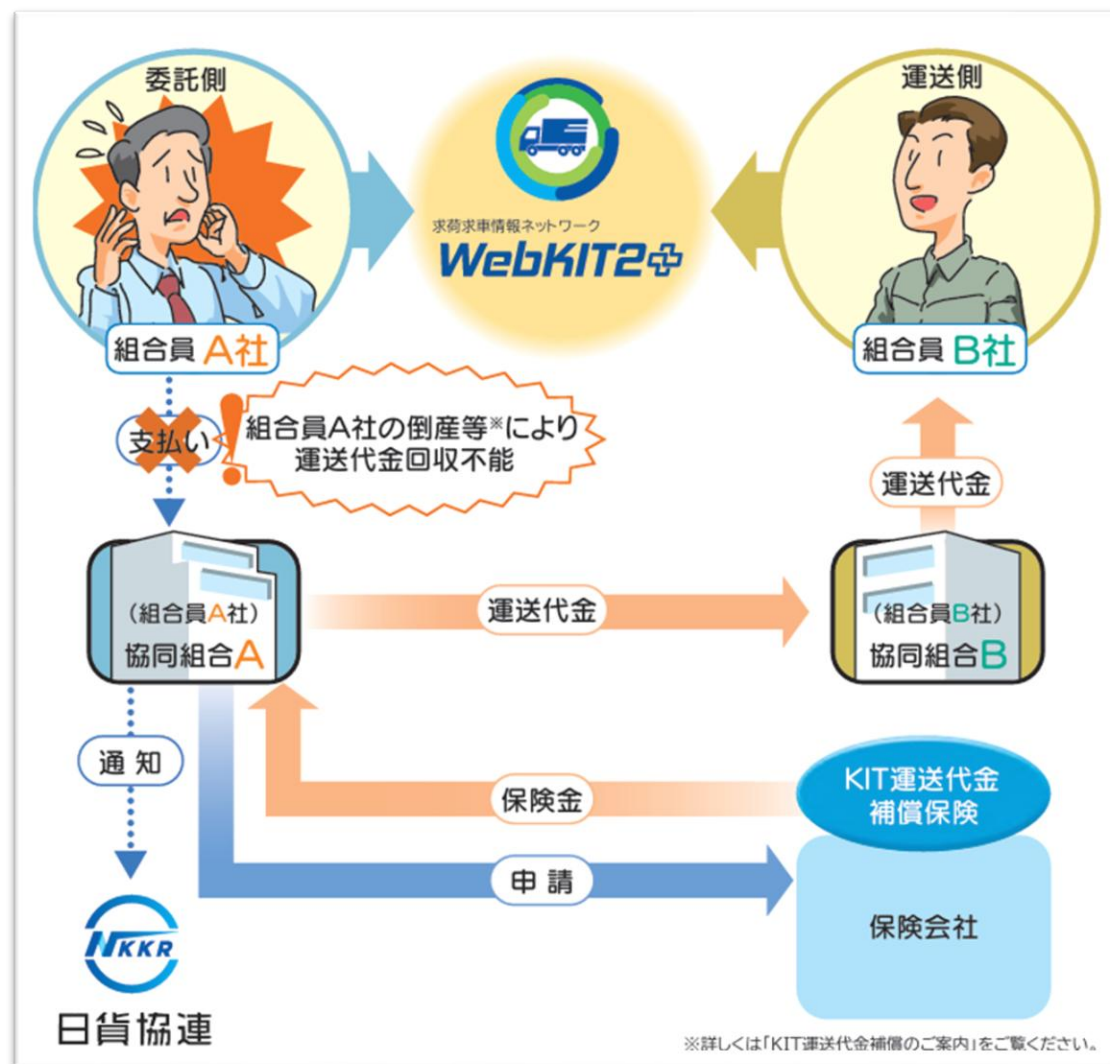


KIT荷物保険パンフレット



運賃の支払いが滞った場合の対応

委託側の事業者から運賃の支払いが滞った場合は、WebKIT専用の取引信用保険により、協同組合は保険会社から運送代金の支払を保険金として受けることができる。



KIT運送代金補償パンフレット

ネットワーク利用料

	協 同 組 合	組 合 員
KIT 会費	15,000 円/月	不 要
端末 (ID): 1 ID につき	 <small>※ 1 つの ID でブラウザ版もアプリ版もご利用できますが、同時にログインすることはできません。</small>	2,000 円/月
KIT 運送代金補償保険料 (1 事業者当たり) (所属組合単位)	—	6,000 円/年 または 8,400 円/年
KIT 荷物保険 保険料 (受託した成約分のみ対象)	成約運賃の 0.2% ※ 協同組合が輸送を 請け負った場合	成約運賃の 0.2%
成約手数料 (成約運賃の 5% 以内)	—	所属する協同組合毎に設定
パソコン、スマートフォンや インターネットの通信費等 利用環境にかかる費用	実 費	

※ 上記の費用とは別に、組合員には組合ごとに定められた「賦課金」が必要となります。

WebKITの普及活動

(1)トラック協会主催の説明会のほか、協同組合単位の加入説明会を随時開催

(2)日貨協連のWebKITホームページによる広報

(3)その他 業界専門紙等の広報媒体の活用

WebKIT説明会の内容

- (1)WebKITの概要について、
- (2)WebKITの使い方について
- (3)わが社のKIT活用事例
(WebKITを利用する運送事業者からの説明)



WebKIT2+

TOP 入会案内 体験してみる 会員サポート 資料ダウンロード

会員ID パスワード ログインして利用する

☐ ログイン情報を記憶する 会員の、パスワードをお忘れの方はここ

紹介動画

登録件数 前年同月対比

登録件数 年間推移

登録件数 前年同月対比

登録件数 年間推移

総端末ID数 : 6492

WebKITとは

全国のトラック運送事業者およびトラック運送事業協同組合のためのインターネットを利用した求荷求車情報ネットワークシステムで、1991年に事業を開始しています。

「帰り荷の確保」「融通配車」「積合わせ輸送」など新たなビジネスチャンスの拡大に威力を発揮し、運送効率を高め、ひいてはトラック運送事業者の生産性向上に寄与するために活用できるツールです。

パソコンやタブレットなどで利用する「ブラウザ版」とスマートフォン専用の「アプリ版」がありますので、利用するシーンを問わずに「いつでも」「どこでも」ご利用いただけます。

研修交流会を通じた信頼関係の構築

人的交流は、ネットワーク取引を成功させるために不可欠な要素。WebKITでは、交流会を通じて、信頼関係の構築はもちろん、新たなビジネスチャンスの発見の機会を提供している。全国及び地域ごとに開催される研修・交流会を積極的に活用することで、ヒューマン・リレーションを構築することができる。

全国研修・実務担当者



交流会



WebKIT利用者の声

A社

少ない台数、限られたお客様しかなかった当社は、WebKITで車両を見つけることができたことでお客様の信用を得て、受注を増やし、会社を成長させることができました。

B社

ユニック車で電気機器設備等の輸送を行っている当社では、現場が全国各地にあるので、帰り荷がなさそうな地域に行くこともあります。そんな時でもWebKITで帰り荷を探すことができ、とてもありがたいです。

C社

WebKITには、仕事になる情報がたくさんあります。これまでになかった売上をWebKITから10%上げることができれば、そのまま業績の向上につながります。新しい仕事をこなすには、それなりの努力が必要ですが、WebKITの情報を活用して新しい分野の仕事をこなすことで、営業の幅も広がります。

D社

WebKITは、求荷求車システムとしての完成度が高く、業界のことを全く知らない新人でも、立派に配車マンの育成ができています。配車には、どんな知識や情報が必要なのか、どんな点に注意をしないといけないか、などについて学ぶことができ、取引先の配車担当者と情報交換しながら、必要なことを日常業務の中で知ることができます。当社の将来を担う配車マンの人材育成ができると感じています。

選択される理由

1 経営資源の共有・補完

中小トラック運送事業者にとって、帰り荷の確保や季節変動への対応は常に悩みの種です。特に最近では、働き方改革への対応をはじめ、長時間労働の規制強化やドライバー不足などの影響で、長距離輸送のみならず、近距離輸送においても、外部環境はめまぐるしく変化しています。

こうした変化に的確に対応していくためには、事業者同士が相互に手を結び、経営資源を共有・補完しあうことが必要です。仕事や車両を融通し合うことで輸送効率の向上を図ります。



2 高い利便性と機能

全国の会員が登録する情報は、荷物の積み地・卸し地や車両の空車地・行先地が市区区分単位で検索・表示されます。また、地図上からも確認できるので、土地勘がなくても素早く経路に合う情報を見つけることができたり、荷姿や車種形状など伝えにくい情報も画像を活用して正確に共有することもできます。

さらに、ドライバー専用のスマートフォンアプリによって、備車の位置情報や輸送状況を共有することもできます。



3 ネットワーク取引の不安解消

ネットワークを介した取引の場合、最も重要なのは相互の信頼関係の確保です。場合によっては遠方同士の見知らぬ相手と取引するため、いくら仕事があっても配車や運賃回収で不安があれば手を出にくいものです。

WebKITには優良な事業者が多く参加している上、万一の場合でも、協同組合同士で責任を負う仕組みができていますので、この点でも安心してご利用いただけます。



4 安全かつ安心な取引環境

ネットワーク取引でポイントとなるのは、万一の事故に備えた補償制度の有無です。WebKITでは、荷物の破損事故に備えた「KIT荷物保険」と、組合員の倒産等に備えた「KIT運送代金補償」への加入を義務付けています。全ての会員が同一の補償内容による貨物賠償保険と取引信用保険に加入しているため、安全かつ安心な取引環境を確保しています。



5 需給動向の把握

荷物や車両の動きは、社会経済情勢のほか、月や曜日で大きく変動します。WebKITでは、全国の荷物や車両の登録や成約の状況をリアルタイムに確認できますので、その時々々の需給動向をいち早く把握することもできます。繁忙期や閑散期における最適な配車管理や運賃動向の把握にも役立ちます。



6 理念と目的

WebKITは、中小トラック運送事業者並びにトラック運送事業協同組合の経営効率並びに輸送効率の向上を図ることを目的として、相互扶助の精神のもとで運営しています。「輸送品質基本方針」や「適正利用ガイドライン」を策定し、輸送品質と輸送効率の向上への取り組みを促進し、取引秩序の確保に努めています。

※ 詳しくは P21 をご覧ください。



7 業界団体による運営

WebKIT は、公益社団法人全日本トラック協会（全ト協）の後援のもと、日本貨物運送協同組合連合会（日貨協連）が運営していますので、非営利かつ公平・公正な運用が図られています。



ご清聴ありがとうございました